

# 学術情報システム総合WS グループ討論 (2014/11/21)

---

国立情報学研究所

学術基盤推進部 学術コンテンツ課

高橋菜奈子

# プレゼンテーション準備

---

# 今回の研修の位置づけ

- 3回の集合研修と自館における研修

7/3-4		8/28-29		11/21	12/12
集合研修	自館研修	集合研修	自館研修	集合研修	成果提出
ビジョンを共有する	課題解決のための調査計画を策定する	グループの課題解決のための計画を確定する	計画を実施する	成果の発表とフィードバック	成果を文章の形でまとめる
研修の趣旨とゴールを共有し、当面の作業課題を設定する。	各グループ内で相談しながら、調査計画策定のための情報を収集する。	調査計画を具体化し、その中で自分の役割を明確にする。	各グループで相談しながら、計画を実行し、結果をまとめる。	成果を発表し、今後のまとめのための助言をうける	

# ワークショップの3つのルール

- ①全員が参加する。
- ②違う意見を尊重する。
- ③全員が平等である。

楽しく、粘りよく、ディスカッションしましょう！

## 最終報告会のカリキュラム（11/21）

9:30-9:45	15分	プレゼンテーション準備
9:45-11:00	75分	グループプレゼンテーション
11:15-12:30	75分	グループプレゼンテーション
12:30-13:30	60分	《昼食》
13:30-14:30	60分	グループ討議：フィードバック検討
14:45-15:45	60分	全体討議
15:45-16:45	60分	全体討議
16:45-17:00	15分	《休憩》
17:00-17:15	15分	振り返り
17:15-17:30	15分	閉講式

# プレゼンテーション準備（15分）

- 全体でウォーミングアップ
- 一人一言：「今日の意気込み！」
- 同じグループの人（3人1組）でプレゼンテーション前の打合せを行ってください。

9時45分になったらはじめます！

# グループ発表

---

# グループプレゼンテーション (各75分)

- 1グループ45分(時間厳守)で発表してください。
- 質疑応答は30分です。
  
- 午後からもグループディスカッションは続きます。
- NIIの聴講の方からも質問をいただきましょう。



# グループ討議

---

# 今回のゴールと本当のゴール

## 今回

- グループプレゼンテーションをもとに、ワークショップ後に向けた議論を深めます。

## 本当の最終目標

- グループごとにレポートを書ける程度の完成度を求めます。（10,000字程度を目標に。）
- 午前中に得られたフィードバックについて、考え方を整理しましょう。

# 次回までの作業課題を確認する

## 成果報告

- 各グループ内で相談しながら、最終調査報告書を執筆、提出する。

提出物：調査レポート

調査結果（データ等）

〆切：12月12日（金）17:00

## 執筆分担

- 各グループ内で役割分担を決めておきましょう。

# 全体討議

---

# 全体討議：本ワークショップの狙いは？

個別の機関で解決不能な共通する課題について、連携・協力して取り組み、問題解決を図ることのできる総合力を養成する。

(『平成25年度教育研修事業要綱』より)

- 今年度のテーマ：学術情報サービスにおけるユーザー理解
- 図書館サービスは、従来の来館者サービスだけではなく、OPAC、ディスカバリーサービスをはじめとして、ウェブサイトにおけるさまざまなデジタルサービスの比重が増してきている。そのサービスを適切に評価し、改善を図るためには、来館者サービスの評価とは別の手法が求められてくる。本研修では、よりよい学術情報サービスをもとめて、ユーザーの行動を分析することによって、エビデンスに基づいたサービス改善の提案ができるようになることを目的とする。
- 2つのグループ設定
  - (1) 利用者の行動観察
  - (2) 利用ログの分析

# 全体討議： 私たちはどこまで来ているのか？

- 全体のビジョンを共有する
  - ①ユーザーの利用分析
  - ②ユーザーを理解
  - ③サービスを適切に評価・改善
- 各班の取組み
  - (1班) 利用者の行動観察
    - ①
    - ②
    - ③
  - (2班) 利用ログの分析
    - ①
    - ②
    - ③

# 全体討議：この調査の意味を考える

- ユーザーを理解するということはどういうことか？

- よりよい学術情報サービスとは？

# 振り返り

---



# まとめ：WSの振り返り

